

児童が運動の楽しさやできた喜びを 味わうことができる体育授業の構築

大分県津久見市立津久見小学校

全校児童数	243名(男子110名 女子133名)		
全クラス数	10	教職員数	29名
体育専科教員訪問学校数			3校
訪問校	堅徳小・青江小・千怒小		
体育専科教員名		川野 祐二	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆R3 体力運動能力調査結果から

- ・本校では、「握力」「立ち幅跳び」「上体起こし」に課題。
- ・学年間や同学年でも男女間で大きな格差が見られる。

◆体育指導の工夫改善から

- ・めあての提示に対し、「わかったこと」「できたこと」の視点での振り返り活動が十分でないことがある。

2 取組の目的

- ・児童が様々な運動に意欲的をもって、自ら進んで取り組もうとする態度の育成で、体力向上の基盤を築く。

3 取組の計画

- ① 一校一実践授業開始後の「5分間タイム」の実施
- ② 多様な運動経験の場の取り入れと運動量の確保
- ③ 児童間の意見交流を図る「振り返り」の位置づけ
- ④ T2との単元目標と指導の流れの共有
- ⑤ 動きを高めるポイントを押さえた指導法の工夫改善
- ⑥ 児童が自ら考え工夫する体育学習の推進

*各学期末に児童による授業評価を4校で実施

Do：実践内容

1 一校一実践「5分間タイム」

- ① おにごっこや主運動につながる補助運動など、楽しく取り組める運動を授業開始後の5分間で実施。
- ② 低・中・高学年ごとに年間計画に沿った実践の継続で体力向上を図る。年間計画は職員室に掲示。

2 多様な運動経験と運動量の確保

- ① 様々な運動経験を積み重ねることを重視し、意欲的に取り組める運動を意図的に取り入れる。
- ② 活動の指示や動きのポイントの確認などは的確に行い、テンポよく授業を進め運動量を確保する。
- ③ ゲームでは、運動能力に関係なくだれもが同じように運動量を確保できるようルールを工夫する。

3 児童間の交流を図る「振り返り」の位置づけ

- ① めあてに対し「できるようになったこと」「うまくできなかったこと」など、各自の取り組みの工夫や達成度合いなどを互いに交流する振り返りを行う。

4 専科とT2との単元目標と指導の流れの共有

- ① 各学年の各単元計画の略案を示し、T2(担任)と単元目標、指導の流れ、「主体的・対話的で深い学び」の視点の共有を図る。

5 動きを高める指導法の工夫改善

- ① 個の力に応じて選択でき、児童が自身の伸びを実感できる場づくりを可能な限り行う。

- ② 児童の動きを高めるポイントや言葉かけを押さえながら、T2(担任)の指導力の向上を図る。

6 自ら考え工夫する体育学習の推進

- ① 相互に動きを見合ったり、教え合ったり、称え合ったりする場を積極的に設け、意欲の向上を図りながら、自ら考え工夫する体育学習を推進する。

●工夫したこと(&苦労したこと)

- ① 市内の全学年が2年間水泳指導未実施という泳力が低下した現状の中で、いかに水慣れと平行しながら少しでも長い距離を泳げるようにするか、苦慮する指導となった。
- ② 跳び箱・マット運動では、保有数をフルに活用しながら、段階的に取り組める場の設定を心がけた。また、様々な動きを短時間で次々と紹介しながら、意欲をもって取り組めるよう授業を進めた。
- ③ 各校で、体育備品や用具で保有数が少ないものがあり、場の設定や授業の進め方に苦労した。

Check：取組の成果

- ① 運動の楽しさやできた喜びを味わうことができる体育学習を目指し、児童297名にアンケートを実施。「体育の学習が楽しい」と肯定的回答の割合が、1学期末は98.7%、2学期末は98.5%であった。
- ② 同じく、「体力が向上してきた」と肯定的回答の割合が、1学期末は93.5%、2学期末は93.0%であった。
- ③ ティーボールでは講師を招聘し、体育部会では指導者講習会を開催。本務校と訪問校の4校すべての3・4年生で2時間ずつGTに入っていた。

Action：今後の課題

- ① 一校一実践の成果の検証と改善
各校の一校一実践が体力の向上、運動好きな子の育成に繋がっているのか、検証と改善を働きかける。
- ② 学級担任が行いやすい授業提起
専科は多くの用具を使用しがちだが、担任が日常的に実践しやすいコンパクトな場の設定を提起する。
- ③ 泳力の向上
2年間の未実施の中で、明らかに泳力が低下している。最低でも25mは泳げる力をつけ卒業させたい。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

【児童】

- ・様々な運動にチャレンジしようとする意欲の高揚
- ・「他を思いやるやさしさ」「仲間と協力する心」の涵養

【教職員】

- ・動きを高める有効な指導法の獲得と指導力の向上

◇「ティーボール」Ⅰ 市教研体育部会で指導者講習会を開催



「1, 2, 3のタイミングでスイング」

- 市教研体育部会(10月)で、ジュニアスポーツ指導員ならびに日本ソフトボール協会公認ソフトボール指導員の資格をもつ方を講師に、「ティーボールの指導者講習会」を開催。
- 限られた時間ではあったが、基本的なボールの「投げ方」「捕り方」「打ち方」と「走り方」を丁寧にわかりやすく実技指導していただいた。
- 部員の感想より
「基本的なルールや、よりゲームを楽しくするための子どもの実態に合わせたアレンジルールの工夫などを学ぶことができた。」
「実際にプレーしたことで、指導のポイントなど細かな面の気づきがあった。」

◇「ティーボール」Ⅱ 本務校と訪問校の計4校の授業に各学級2時間ずつGTを招聘



- 上記講師を招聘し、昨年度は2校で各学級1時間ずつの指導であったが、今年度は4校すべての3・4年生で2時間ずつ「投げる・捕る」「打つ・走る」に分けて、それぞれのポイントを丁寧に指導していただいた。
- 限られた時間ではあったが、基本的なボールの「投げ方」「捕り方」「打ち方」を丁寧にわかりやすく指導していただいた。
- 来年度も、本務校と訪問校の計4校の3・4年生を対象に実施したい。
- 小学校での取組が、第一中・第二中でのソフトボールの指導に繋がった。

◇「水あそび」(1・2年生)「水泳運動」(3・4年生)の導入

- (1・2年生)**
- 入水
 - 立ち歩き 肩までつかり歩き
手かき歩き 走り
 - カニ歩き ワニ歩き
 - 輪くぐり 2個 3個
 - 宝さがし
 - おじぞうさん(ペアで水かけ)
 - お池にポチャン(顔つけ)
 - いろいろ浮き くらげ浮き、だるま浮き うつぶせ あおむけ
 - 走りスライディング輪くぐり
 - *授業の最後に
 - 洗濯機(渦つくり)

- (3・4年生)**
- 入水
 - 手上げ歩き 手かき歩き 走り
 - 顔上げジャンプ前進
 - 顔着けどぶんジャンプ前進
 - ジャンプジャンプどぶん
・底に、膝つけ・手と膝つけ・おしりつけ、背中つけ・お腹つけ
 - 水中回転 前回り・後ろ回り
 - 水中逆立ち
 - いろいろ浮き くらげ浮き、だるま浮き うつぶせ あおむけ
 - 水中ロケット フラフープくぐり
 - けのび けのびバタ足



「死んだふり〜！」



「洗濯機〜！」

◇各学期末に児童による授業評価アンケートの実施 … 2学期末は4校16学級297名で実施

【質問】	【1学期末】	→	【2学期末】
Q1 体育の学習は楽しいですか？	98.7%	→	98.5%
Q2 前よりも体力がついてきたと思いますか？	93.5%	→	93.0%
Q3 めあてを達成するために、自分で考え、自分から進んで運動に取り組みましたか？	93.5%	→	92.2%
Q4 体育の学習でも、自分も友だちも大事にして、なかよく運動できましたか？	96.3%	→	94.8%

<*肯定的な回答の割合>